その他（４）

本県学校教育の現状について

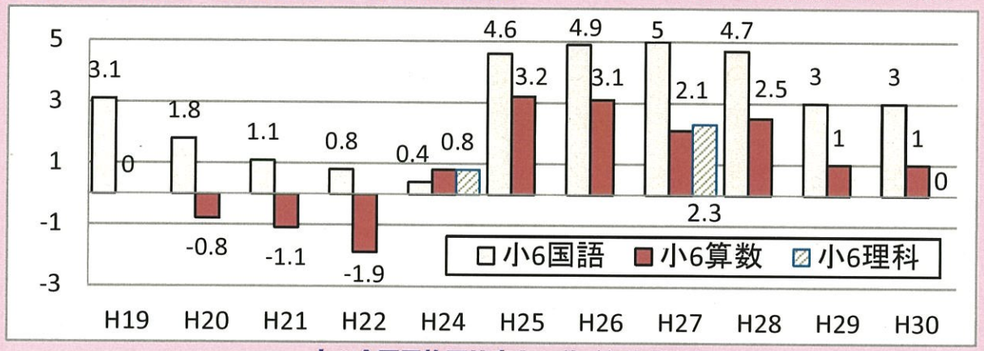
このことについて、別紙のとおり報告する。

令和元年５月２２日
新潟県教育委員会教育長
稲　荷　善　之

新潟県学校教育の現状（小・中学校）

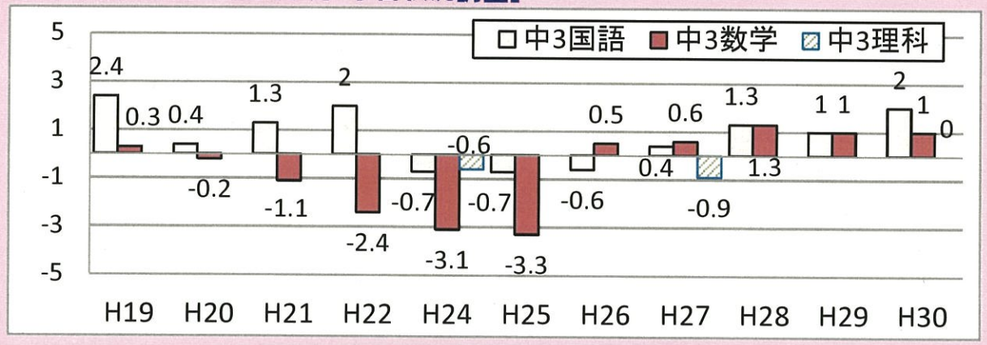
1　児童生徒の学力は、全国学力・学習状況調査において小・中学校ともに全国平均を上回るか、ほぼ同程度です。これまでの授業改善による成果と受け止め、さらに本県と全国の差がプラスになるように、見通し・振り返りの学習活動を取り入れた授業づくりを支援します。

（1）小学校6年生「全国学力・学習状況調査」　平成29年度の調査から結果を整数値で発表



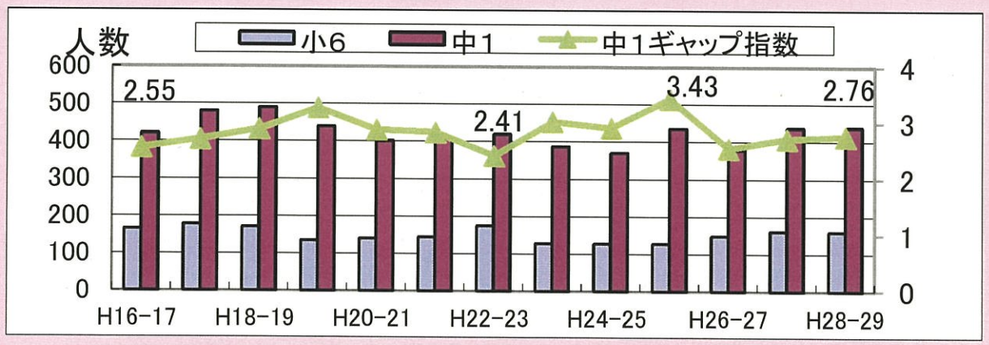
小６全国平均正答率との差（年次推移）

（2）中学校3年生「全国学力・学習状況調査」



中３全国平均正答率との差（年次推移）

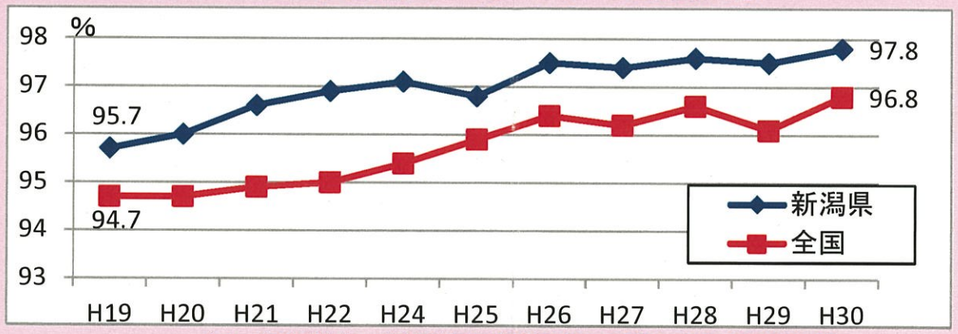
2　小学校6年・中学校1年の不登校児童生徒数の年次推移は、大きく変わっていません。小中の連携を強化し、教育相談体制の充実を図り、不登校への対応をより一層推進します。



※中1ギャップ指数＝（中学校1年の不登校生徒数）÷（前年度の小学校6年時の不登校児童数）

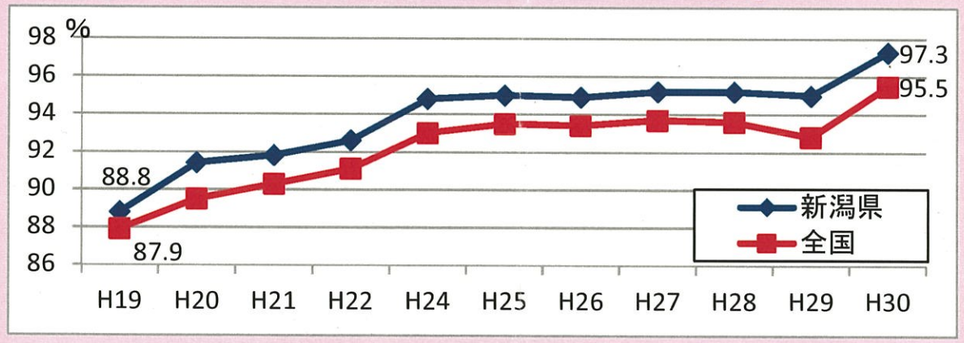
3「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と答えた児童生徒の割合は増加し、小・中学校ともに全国より上回っています。児童生徒の割合100％を目指し、道徳教育・特別活動・人権教育、同和教育の充実を図り、「いじめをしない、見逃さない、許さない」意識を醸成します。

（1）小学校6年生「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」



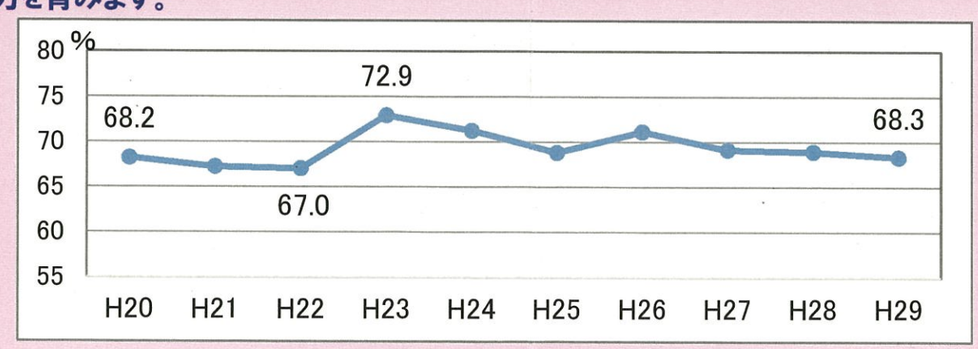
小６「全国学力・学習状況調査質問紙」全国との差（年次推移）

（2）中学校3年生「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」



中３「全国学力・学習状況調査質問紙」全国との差（年次推移）

4「将来就きたい仕事のイメージをもっている中学生」の割合が70％前後です。家庭・地域や産業界と連携した実践的・体験的な活動の充実を図るなど、自分の将来を設計し自立して生きる力を育みます。

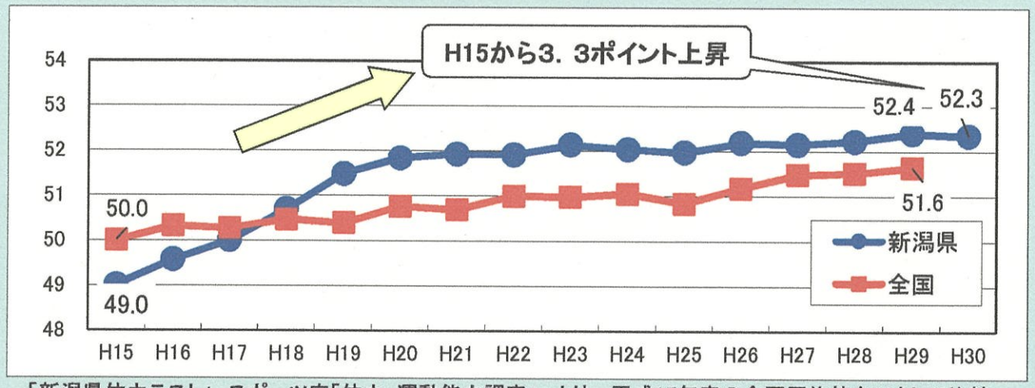


「中学校等卒業後の進路に関する調査」（中学校2年生）

新潟県学校教育の現状（保健体育）

1　小学生の体力は全国平均以上です。

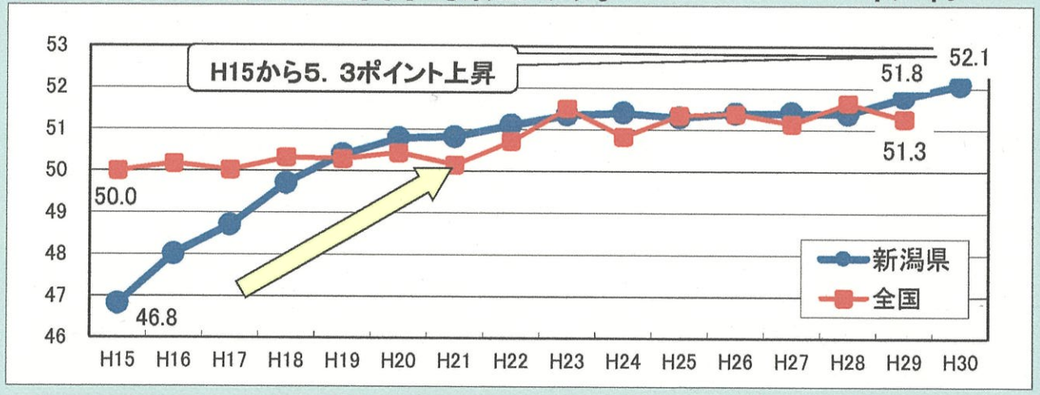
小３～小６



「新潟県体力テスト」、スポーツ庁「体力・運動能力調査」より　平成15年度の全国平均値を50として比較

2　中学生の体力は全国平均以上です。

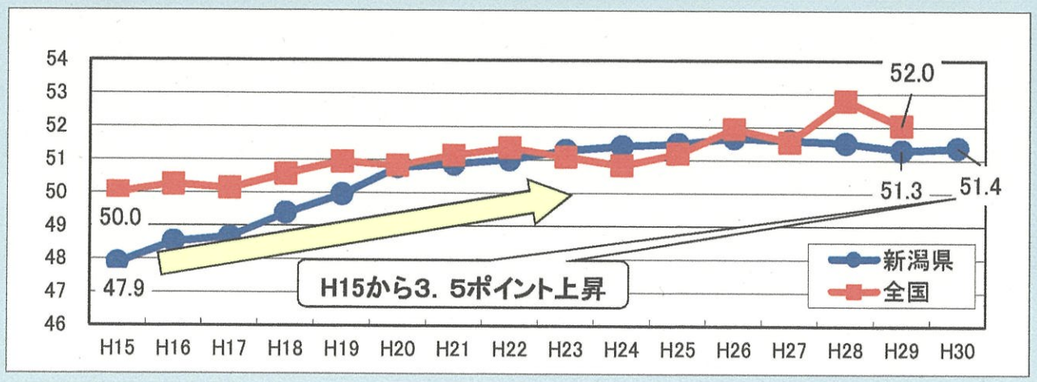
中1～中3



「新潟県体力テスト」、スポーツ庁「体力・運動能力調査」より　平成15年度の全国平均値を50として比較

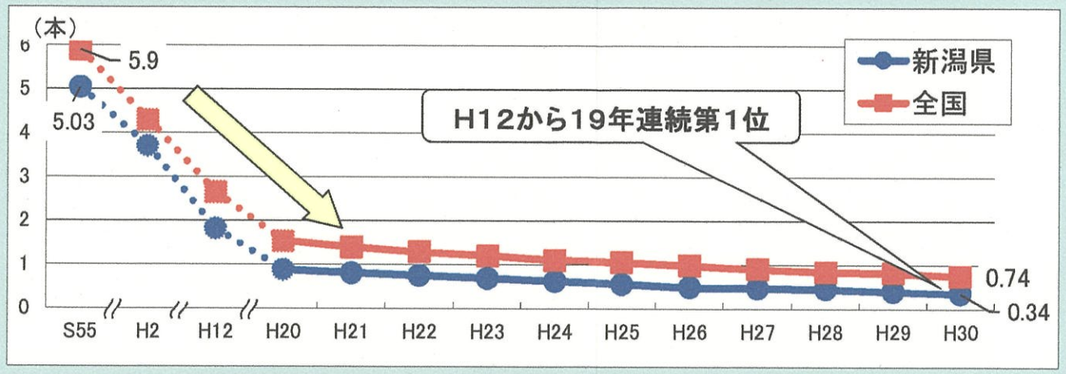
3　高校生の体力は、ここ数年ほぼ横ばいです。

高１～高４



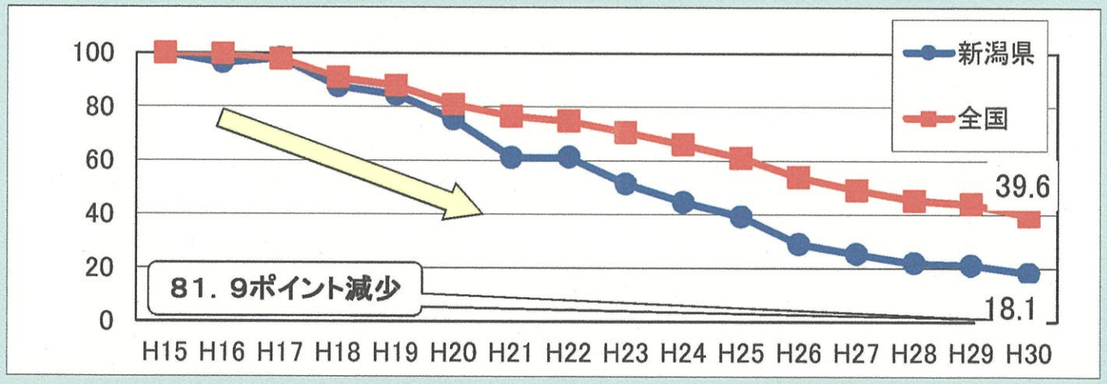
「新潟県体力テスト」、スポーツ庁「体力・運動能力調査」より　平成15年度の全国平均値を50として比較

4　子どもたちのむし歯の少なさは全国トップを維持しています。



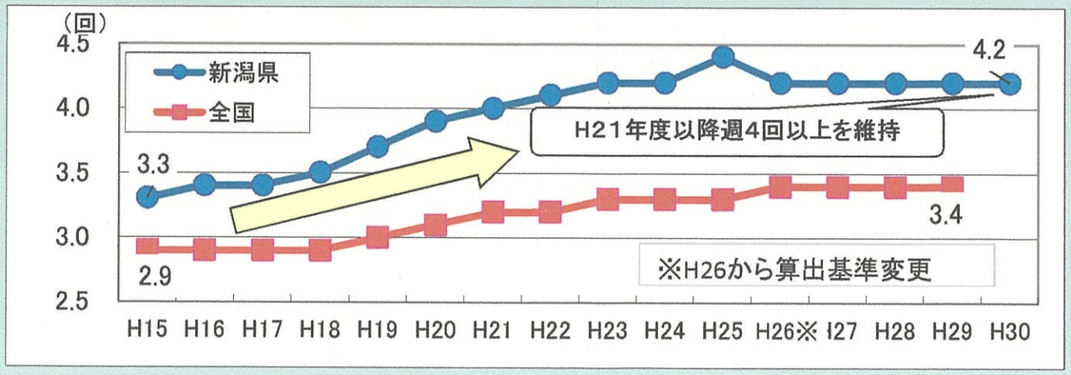
文部科学省「学校保健統計調査」より　12歳児の１人平均むし歯数の推移

5　子どもたちの交通事故死傷者数は減少しています。



新潟県警調べより　平成１５年の数値を100としたときの死傷者数の比率の比較

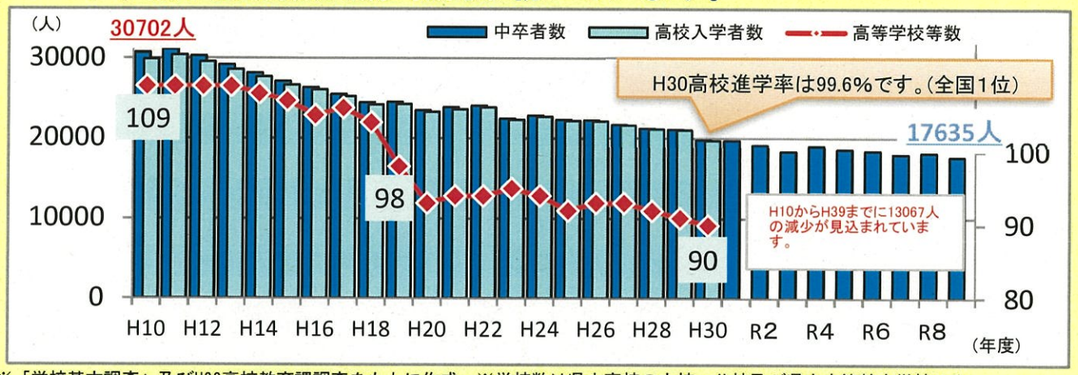
6　米飯給食は高い水準を維持しています。



文部科学省「学校給食実施状況調査」より　１週間における米飯給食実施回数の年次推移

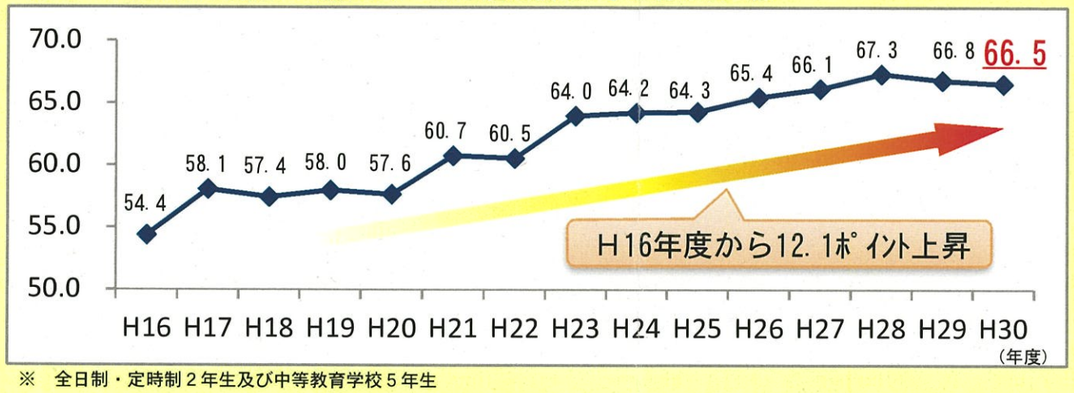
新潟県学校教育の現状（高等学校等）

1　中学校卒業者数は減少傾向が続いています。



※「学校基本調査」及びH30高校教育課調査をもとに作成　※学校数は県立高校の本校・分校及び県立中等教育学校のみ

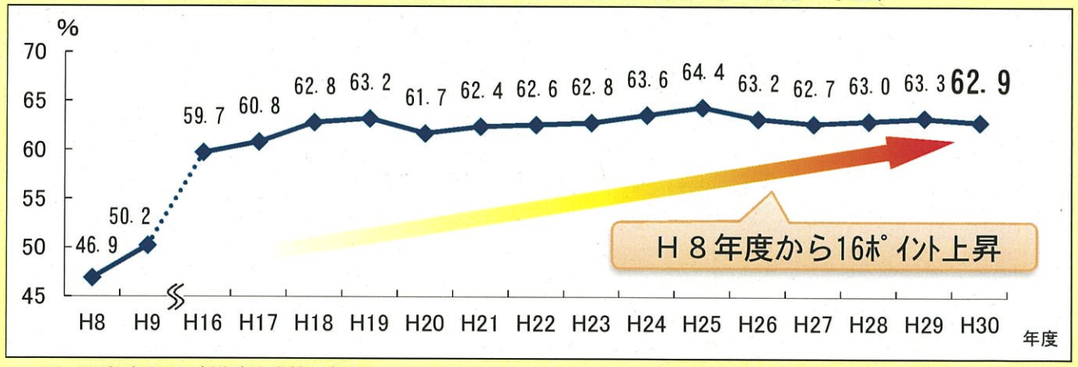
（３）　学校が進路実現に「役立つ」「ある程度役立つ」と答えた生徒



※　全日制・定時制２年生及び中等教育学校５年生

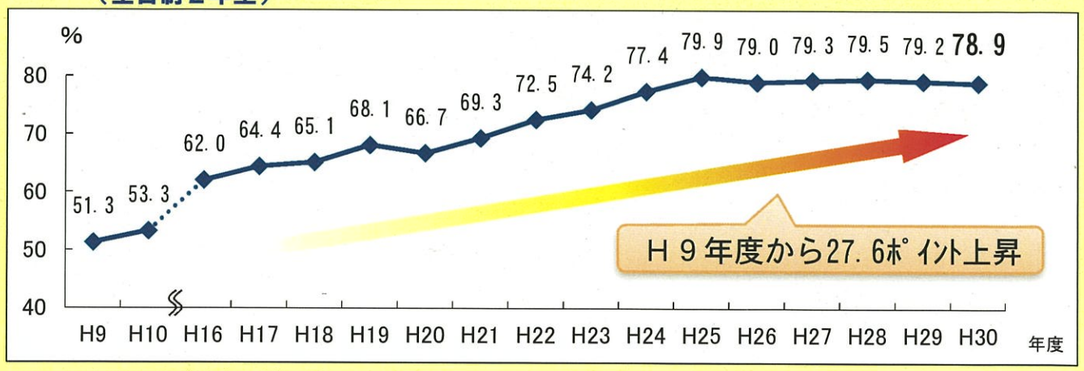
2　高校生活の満足度は高いレベルで推移しています。

（１）「入学した学校が入りたい学校であった」と答えた生徒（全日制１年生）



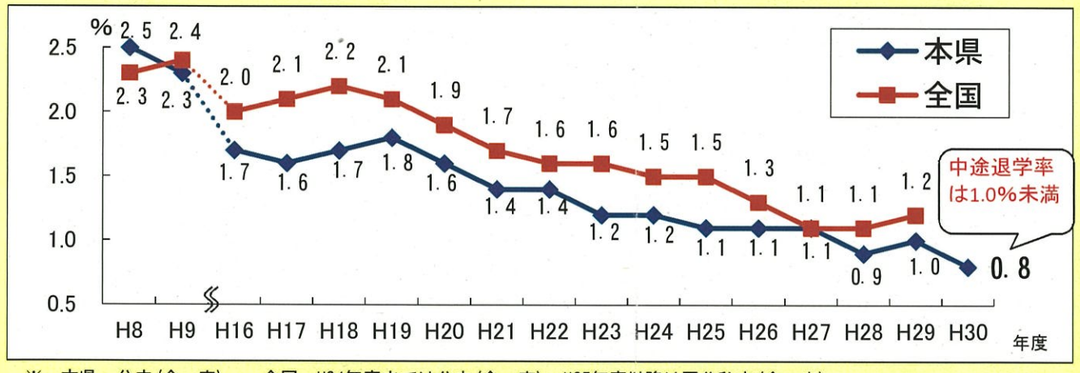
※　H28年度までは新潟市立高校を含む。

（２）高校生活に「満足している」「どちらかといえば満足している」と答えた生徒（全日制２年生）



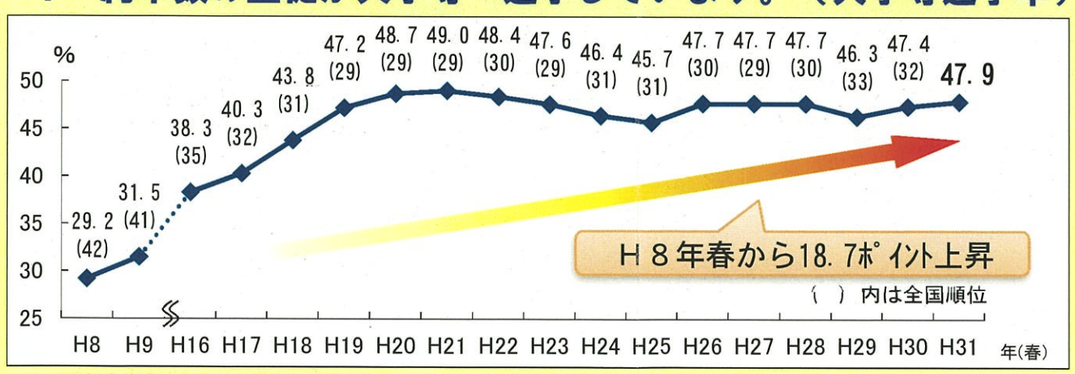
※　H28年度までは新潟市立高校を含む。

3　高等学校中途退学率は全国より低い水準が続いています。



※　本県：公立（全・定）　　全国：H24年度までは公立（全・定）、H25年度以降は国公私立（全・定）

4　約半数の生徒が大学等へ進学しています。（大学等進学率）



※　H20年度以降は中等教育学校卒業者を含む。H30年春は高等学校教育課調査